

第40回生協大会

福島発!ALPS 処理水の海洋放出は国民みんなの課題

政府は昨年、処理水の処分方針決定に向けて計7回の意見聴取会を開き、多くの団体が環境への放出による新たな風評の発生を心配し、具体的な対策を求めてきましたが、それに何も応えないばかりか、全国的に処理水そのものへの理解が深まっているとは言えない状況にもかかわらず、海洋放出決定に突き進みました。結論在りきでなかったのかと誤解を招くような、また聞置だけかという姿勢や風評対策についても、これまでも十分に検討する時間があつたにも関わらず、無為に過ごし、海洋放出の結論だけを一方的に行つたことで、国民の信頼を失っています。信頼関係がなければ何もできません。本大会では、政府の判断基準のひとつとなつたALPS小委員会でもとめられた報告書の経緯と真意について、正しく理解をする必要があるとの判断から、企画しました。

オンライン(Zoom)で、メイン会場からサテライト、各会員生協・個人をつなぎます。

☆開催日時

2021年10月19日(火)13:00~15:30

☆開催場所

メイン会場:ラコパふくしま 5F「A・B 会議室」

サテライト:会津坂下町中央公民館

パルシステム福島「みんなの交流館」

会員生協:それぞれの会議室や組合員ホール

個人参加:自宅のパソコン・タブレット・スマホで参加

但しメールで事前申込みが必要です。

《プログラム》

13:00 開会あいさつ

主催者あいさつ

13:05 鼎談「ALPS小委員会と報告書について」

小山 良太氏 福島大学食農学類教授

開沼 博氏 東京大学大学院情報学環准教授

関谷 直也氏 東京大学大学院情報学環附属総合防災情報研究センター准教授

14:25 質疑

14:40 地産地消ふくしまネット共同声明について

14:50 会員生協の取り組み報告

みやぎ生協・コープふくしま、福島医療生協

15:10 福島県の漁業者の思い

15:30 閉会あいさつ

主催:福島県生活協同組合連合会

後援:地産地消ふくしまネット 協力:福島県労働者福祉基金協会

【ALPS 小委員会とは…】

2016年9月27日、汚染水処理対策委員会において、タスクフォース報告書で取りまとめた知見を踏まえつつ、ALPS 処理水の取扱いについて、風評被害など社会的な観点等も含めて、総合的な検討を行うことを目的とし、「多核種除去設備等処理水の取扱いに関する小委員会(ALPS 小委員会)」を設置することが決定され、同年11月11日に第1回 ALPS 小委員会が開催され、2020年2月10日に報告書がまとめられました。ALPS 小委員会のメンバーには、地元福島大学の小山良太教授と福島大学にゆかりのある関谷直也准教授、開沼 博准教授の3名が入っております。

【県談者プロフィール】



小山良太氏

1974年東京都生まれ。北海道大学大学院農学研究科博士課程修了 博士(農学)。2005年より福島大学経済経営学類准教授、2014年同教授、2019年福島大学食農学類教授。福島県地域漁業復興協議会委員、多核種除去設備等処理水の取扱いに関する小委員会委員、日本学術会議特任連携会員。



開沼 博氏

1984年福島県いわき市生まれ。東京大学文学部卒。同大学院学際情報学府博士課程単位取得満期退学。2021年より東京大学大学院情報学環准教授。専攻は社会学。東日本国際大学客員教授、福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任研究員等を歴任。



関谷直也氏

1975年新潟生まれ。1998年慶應義塾大学総合政策学部卒業。2004年東京大学大学院人文社会系研究科社会情報専門分野博士課程単位取得満期退学。東京大学大学院情報学環附属総合防災情報研究センター准教授(災害情報論、社会心理学)。東京大学総長補佐/卓越研究員。福島大学食農学類客員准教授を兼務。

Zoom ウェビナーによる申込方法

申込方法:下記 Google フォームより事前登録を10月1日まで
お願いします。

(後ほど登録者に Zoom の招待コードを送付します。)

<https://forms.gle/2b5aWfJBwAzSZVFs6>

(右のQRコードからアクセス)



問い合わせ 福島県生活協同組合連合会

福島市仲間町4番8号ラコパふくしま 4F

☎ 024(522)5334 📠 024(522)2295

email:fukushima.rengokai@ma9.seikyoku.ne.jp

URL:<http://fukushima.kenren-coop.jp/>

